

鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

平成 30 年 4 月 20 日

衛霊公 第十五

【三五】子曰く、仁に当りては師に譲らず。

仁の最高の徳を実行するときには、師匠に対しても遠慮しないで仁は実行すべきであると孔子が言いました。

孔子からすると弟子たちが自分に遠慮して違うと思っても、なかなか先生には「そこ違うのではないですか」とは言えない。仁については、おかしいと思ったら遠慮しないで言いなさいと弟子を煽っているところです。

【三六】子曰く、君子は貞にして、諒ならず。

山田方谷が大きな借金を大商人たちに返そうと決めた時に、備中松山藩は今まで嘘をついてすまないと言い、これからは借金を返すので、もう一度大きな借金をさせてくれというようなことを頼みました。大きな約束を守るために目の前の小さな約束は蹴飛ばしてもよいと山田方谷が実行したことがあります。

今のトランプさんの場合でいえばアメリカという国家は、「貞にして」国民に対する大統領の責任を考えた場合にアメリカが赤字で苦しんでいるのはおかしい。アメリカを赤字にするほかの国々に対しては小さな約束だから守らなくても良いと言っているようなものです。

【三七】子曰く、君に事うるには、其の事を敬して、其の食を後にす。